

- 問1 瀬戸内海に面した地域では、1月と7月の両方において降水量が少なく、年間を通じて雨が少ない傾向があります。このような気候の特色がみられる主な理由を説明したものと、最も適切なものを選んでください。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
| 1. 一年を通じて勢力の強い高気圧に覆われ、上昇気流が発生しにくいいため。 | 2. 季節風が、中国山地や四国山地などの山地によってさえぎられるため。 | 3. 冬の北西の季節風が湿った空気を運び、中国山地の斜面で雨を降らせるため。 | 4. 暖流である対馬海流の影響を強く受け、気温が上昇して乾燥するため。 |
|---------------------------------------|-------------------------------------|--|-------------------------------------|
- 問2 大分県別府市の鶴見岳周辺の地形データにおいて、火口から北側へ流下すると予測される溶岩流の進路が、ある地点から東側へと大きく曲がっています。このように溶岩流が流れる方向を変える理由として、地形と溶岩の性質の観点から最も適切な説明はどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 噴火時に吹く風の影響を強く受けるため、上空の風向きが北風から西風に変化したことに伴って溶岩の流る向きも東へと変わった。 | 2. 溶岩流は粘り気が強いので、傾斜が急な場所では等高線を横切らず、等高線に沿って標高が高い場所を維持するように流れた。 | 3. 溶岩流は地表面の温度が高い場所を好んで流れるため、地熱が低い谷間を避け、地熱が高い尾根筋に沿って進路を変えた。 | 4. 溶岩流は重力の影響を受け、周囲の土地より低い場所を選んで流れる性質があるため、谷などの地形に沿って進路が変わった。 |
|--|--|--|--|
- 問3 新潟県付近のように、冬の降水量が月間200mmを超えるなど、冬に湿潤で夏に晴天が多い気候の特徴が生じる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 冬の北西季節風が日本海で水蒸気を補給し、山脈の風上側で雪を降らせる一方、夏は山を越えた乾いた風の影響を受けるため。 | 2. 夏の南東季節風が太平洋から湿った空気を運び、日本海側まで到達して長期間の雨を降らせるため。 | 3. 周囲を高い山々に囲まれた盆地状の地形であり、季節風の影響を受けにくく、年間を通じて降水量が少ないため。 | 4. 一年を通じて偏西風の影響を強く受け、大陸からの乾燥した空気が常に供給されることで夏と冬の寒暖差が生まれるため。 |
|--|--|--|--|
- 問4 自然災害による被害が予想される区域や、避難場所・避難経路などの情報を住民に知らせるために作成された地図を何とといいますか。 (2020年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|---------|--------|------------|
| 1. 路線図 | 2. 等高線図 | 3. 地形図 | 4. ハザードマップ |
|--------|---------|--------|------------|
- 問5 各自治体が作成・公表している、地震や洪水などの自然災害が発生した際に被害が及ぶ可能性のある範囲や、避難場所・避難経路などの情報をまとめた地図を何と呼びますか。 (2023年 山口県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------|---------|--------|----------|
| 1. ハザードマップ (被害想定地図) | 2. 等高線図 | 3. 地形図 | 4. 土地利用図 |
|---------------------|---------|--------|----------|
- 問6 三重県の志摩半島付近に代表されるような、複雑に海岸線が入り組んだ地形について、その名称と産業上の特徴を説明したものと最も適切なものはどれか。 (2017年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 砂丘と呼ばれ、強い風を利用した風力発電や観光地としての利用が中心となっている。 | 2. リアス海岸と呼ばれ、入江の中は波が穏やかであるため真珠やカキなどの養殖業に適している。 | 3. 扇状地と呼ばれ、水はけがよいので果樹園や畑として利用されることが多い。 | 4. 三角州と呼ばれ、土地が平坦で水分が豊富であるため稲作が盛んに行われている。 |
|--|--|--|--|
- 問7 三陸海岸の南部などに見られる、陸地が沈降して谷間に海水が入り込み形成された、のこぎりの歯のような複雑な形状の海岸を何というか。 (2018年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|----------|
| 1. 扇状地 | 2. 砂州 | 3. 干拓地 | 4. リアス海岸 |
|--------|-------|--------|----------|
- 問8 夏から秋にかけての降水量が非常に多く、年間の総降水量が二千ミリメートル近くに達する地域が見られます。このような「太平洋側の気候」において、特定の時期に降水量が急増する主な要因として正しい説明はどれですか。 (2026年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
| 1. 暖流である対馬海流の影響で、冬の間に雪雲が発達しやすいため | 2. 冬に北西から吹く湿った季節風が山地を越えてくるため | 3. 夏に南東から吹く湿った季節風や、台風の影響を強く受けるため | 4. 周囲を高い山に囲まれ、湿った空気が入り込みにくいいため |
|----------------------------------|------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|
- 問9 太平洋を囲むように分布し、日本列島もその一部に含まれる造山帯の特徴として、最も適切な説明はどれですか。複数のプレートが重なり合う境界付近に位置していることを考慮して選んでください。 (2022年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 安定陸塊と呼ばれ、地殻が非常に安定しているため、大規模な地震や火山活動はほとんど見られない。 | 2. 古期造山帯に分類され、長期間の侵食を受けたことによって、なだらかな山地や高原が広がっている。 | 3. アルプス・ヒマラヤ造山帯に含まれ、ヨーロッパからアジアを横断して日本まで続いている。 | 4. 新期造山帯に分類され、地殻変動が活発なため、険しい山脈や火山が多く地震も頻繁に発生する。 |
|---|---|---|---|
- 問10 日本近海の地図において、北海道や東北地方の太平洋側に沿って北から南下してくる海流が示されている場合、この寒流の名称として適切なものはどれか。 (2017年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|----------|--------------|---------|
| 1. 親潮 (千島海流) | 2. リマン海流 | 3. 黒潮 (日本海流) | 4. 対馬海流 |
|--------------|----------|--------------|---------|
- 問11 三陸海岸の一部を上空から観察すると、海が陸地の奥深くまで入り込み、複雑な海岸線を描いていることがわかります。このような地形が持つ、防災上の特徴に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。 (2026年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 海岸線が直線的で遠浅であるため、波のエネルギーが分散し、津波による被害が軽減されやすい。 | 2. 海岸沿いに階段状の平地が広がっているため、波が陸地に到達する前に威力が弱まりやすい。 | 3. 沿岸に砂が堆積してできた砂礁があるため、それが防波堤の役割を果たして浸水を防ぎやすい。 | 4. 湾の入り口が広く奥に向かって狭まっているため、津波のエネルギーが集中して波が高くなりやすい。 |
|---|---|--|---|
- 問12 日本の気候区分において、太平洋側の気候に見られる「冬に晴天が多く、乾燥する」という仕組みの背景にある、地形と気流の関係を説明したものと最も適切なものを選びなさい。 (2017年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 太平洋側を流れる暖流によって空気が温められ、上昇気流が発生することで雲が消散し、乾燥した天気が続くため。 | 2. 瀬戸内海沿岸と同様に、北側の中国山地と南側の四国山地の両方によって湿った季節風が遮断されるため。 | 3. 冬になるとシベリア高気圧が南下し、太平洋の湿った空気が日本列島に到達するのを完全に遮断してしまうため。 | 4. 冬の季節風が中央の山地を越える際、日本海側に水分を落としたあと、乾いた風となって太平洋側に吹き降するため。 |
|---|---|--|--|
- 問13 日本海側の地域において、冬の降水 (降雪) 量が多くなるメカニズムを説明したものと、最も適切なものはどれか。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 冬に南東から吹く季節風が、太平洋を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈を越えた後の日本海側で乾燥した空気を送る。 | 2. 一年中吹く偏西風が、日本海流 (黒潮) によって温められた水蒸気を直接運び込み、冬の山沿いに雨をもたらす。 | 3. 冬に北西から吹く季節風が、日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、山脈にぶつかって上昇することで雪を降らせる。 | 4. 赤道付近で発生した低気圧が日本海を北上し、暖かく湿った空気を山脈にぶつけることで大量の雪を降らせる。 |
|--|--|---|---|